

カブトムシのサナギを観察しよう！

【園芸用オアシスとクリアカップで人工蛹室を作ってみた。】

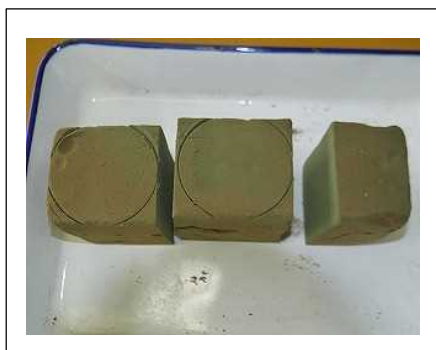
蛹室【ようしつ】とはサナギになったカブトムシが成虫になるまで過ごす部屋のことです。人工蛹室を作製しておくことで幼虫がうまく蛹室を作れなかったときやサナギを移し替えての観察に役立ちます。



《用意するもの》

- ・園芸用オアシス
- ・透明なカップ 深さ10cm以上
- ・トイレトペーパーの芯
- ・カッター（写真は薄い金属ヘラ）
- ・スプーン
- （・バット：オアシス加工の片付けがしやすい）
- ・ティッシュ または キッチンペーパー
- ・輪ゴム

作製方法



- ① ホームセンターなどで販売している園芸用オアシスを使用します。1個でカップのサイズにもよりますが2つは作製できると思います。カップのサイズより少し大きめに2つ切り離し、残りのオアシスでそのサイズに合わせ丸く切り出します。厚さは1~2cm位が良いでしょう。



- ② カップより少し大きく切り出したオアシスにトイレペーパーの芯で穴をあけます。中心から少しずらしておくとお観察しやすくなります。スプーンなどで内側が滑らかになるように形を整え、外側はカップのサイズの合うように少しずつ外側を削り取っていきます。カップに出し入れしてもきつくない大きさまで削ったらカップの上から出てしまうものもふちに合わせて切り取ります。オアシスの加工はこれで完成です。

※内側を大きくし過ぎるとサナギが倒れやすくなって羽化の時に羽が曲がってしまうかも。

【羽化不全という】



- ③ 使用するときにはオアシスに水をたっぷり含ませて使用します。水の残り過ぎも生育に影響するのでカップの外で水を含ませませ。サナギは素手で触らずに軍手などつけて移し替えましょう。オアシスを横向きの状態にしてサナギを優しく乗せ、カップへと入れます。最後にティッシュペーパーでフタをして乾燥を防止します。

サナギになって 4～6 週間で羽化が始まります。羽化して10日前後蛹室の中で羽を乾かした後に外に出てきます。

逃げないように段ボールなどに入れ観察しましょう。

カップから出てきたら飼育ケースに移して

エサを与えて大事に育ててあげてね。

